

うるま

シマダカラ 探し アートマップ



展示作品の地図だよ

うるまシマダカラ芸術祭

島の記憶と、未来が対話する場所へ。

主催

うるま市

お問合せ

うるま市役所経済部観光振興課

〒904-2292 沖縄県うるま市みどり町一丁目1番地1号

電話

098-923-7612

<http://uruma.shimadakara.jp>



参加作家の情報や芸術祭開催時の作品などをご覧ください。

うるまのシマの歩き方、楽しみ方

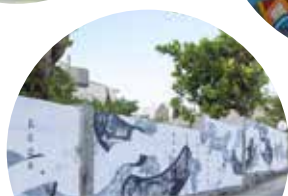
シマダカラを

探しに出かけよう!

うるま市の5つの島々を舞台に、2012年から2017年まで開催された「イチハナリアートプロジェクト」は、多くのひとびとがアートに親しむ機会をつくりだしてきました。

その後、島人や作家を中心に、島で行うアートイベントのあり方を考える対話を重ね、「うるまシマダカラ芸術祭」として生まれ変わりました。

うるまシマダカラ芸術祭の「シマダカラ」には「島に存在する人、文化、自然などはシマ(島)のタカラ(宝)」という意味と、「シマダカラ(島だから)できる芸術祭をめざす」という2つの意味をこめています。5つの島のうち、伊計島、宮城島、浜比嘉島には、芸術祭後も継続して展示している作品があります。赤瓦やセメント瓦、花ブロック…。来場者の感想に多かった「島の風景や昔の建物もアートだと思った」という集落のなか、アート&島散策を楽しんでください。



伊計島

沖縄の言葉で伊計島はイチジマ、“遙か遠い”島に足を延ばす。



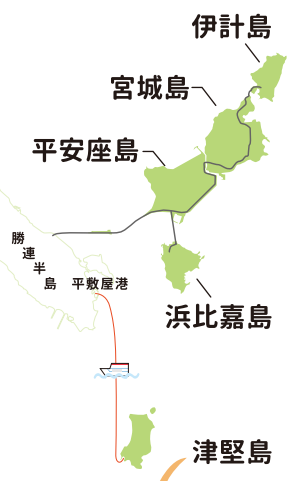
宮城島

坂の途中に昔からの家並みが広がる。



01	壁画	(2017)	陳于安	10	紅型壁画	(2019)	知花幸修
02	飛来	(2019)	DENPA	11	追憶2	(2017)	DENPA
03	無題	(2017)	DENPA	12	金継ぎ	(2019)	DENPA
04	追憶1	(2017)	DENPA	13	紅型壁画	(2019)	知花幸修
05	イス	(2016)	ICHI+	14	紅型壁画	(2019)	知花幸修
06	紅型壁画	(2019)	知花幸修	15	壁画	(2017)	陳于安
07	紅型壁画	(2019)	知花幸修	16	月桃	(2017)	陳于安
08	イス	(2016)	ICHI+	17	追憶3	(2017)	DENPA
09	無題	(2017)	石垣克子				
					作品名	製作年	作家名

01	イス	(2017)	玉城正昌
02	紅型壁画	(2019)	知花幸修
03	紅型壁画	(2019)	知花幸修
04	ナグスクウッドゥンものがたり	(2017)	絵本作家 SAVA
05	鳥の餌台	(2014)	与太郎 吉田俊景+奥山泉
06	石獅子	(2015)	カイアミヨシヒロ
07	日時計	(2013)	与太郎 吉田俊景+奥山泉
08	島の記憶	(2017)	poke104
09	ティダの根	(2014)	poke104
10	サンゴの産卵	(2014)	poke104
11	ウインチ小屋に浜漁港の風景を	(2019)	デコールデザイン



※写真は「うるまシマダカラ芸術祭」の様子です。現在展示されている作品ではありません。

津堅にんじんなどで有名な島。平敷屋港から小さな船旅で！

